

1日目

《日中投資促進機構》

第27回中国ビジネス実務セミナー

講師からのメッセージ・講義のポイント

講義タイトル 講師	講義のポイント	こんな会社、 人にオススメ	こんな事例を 紹介します！
<p>1日目1限</p> <p>基調講演</p> <p>「改革開放の国際化と 新型国際関係の構築に向けて」</p> <p>(一財)国際貿易投資研究所 研究主幹 江原 規由 氏</p>	<p>中国経済はこれまでと違った次元で急速に国際化しています。そうした中国経済を、<u>一帯一路構想、国際産能合作、産業構造調整</u>の視点から解き明かします。中国は経済の国際化を軸に、今後、<u>国際ガバナンスの形成</u>で発言力を増すとみられます。それが、<u>今後の対中ビジネスにどう影響するのか</u>につき、仮説してみます。</p>	<p>今後の中国経済の行方に関心のある方、企業人、また、<u>一帯一路構想の本質に関心のある方</u>。今後の<u>対中ビジネスにおけるチャンスとリスク</u>に関心のある企業、関係者などにお勧めできます。</p>	<p>①一帯一路FTA構築(経済圏)に関する中国の姿勢。 ②中国の新経済外交戦略となる伙伴关系の意義と可能性。 ③走出去の最前線である国際産能合作の事例など。</p>
<p>1日目2限</p> <p>マクロ経済</p> <p>「構造調整の傍ら、新機軸により 影響力と競争力が高まる中国経済」</p> <p>丸紅(中国)有限公司 経済調査総監 鈴木 貴元 氏</p>	<p>日中関係、日米関係、中国内政・経済改革が大きくなうねりをみせる中、経済成長には力強さがみえてきています。地域開発では一帯一路、産業では電子商取引やIoT、AIなどが、都市整備や起業を促しています。<u>こうした革新がどのように中国市場や国際関係に影響を及ぼしているか</u>解説します。</p>	<p>中国経済の動向は世界・日本の将来をみる上で、世界の経済関係者が注目しています。<u>企画、管理、営業開発など、一歩先が必要な方</u>にお勧めです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日中、中米関係の行方 ・中国の経済リスク ・中国の地方開発、新産業開発 ・日本企業以外の企業動向
<p>1日目3限</p> <p>リスクマネジメント</p> <p>「中国を中心とする グローバルビジネスリスクとその対応」</p> <p>コンサルビューション(株) 代表取締役社長 高原 彦二郎 氏</p>	<p>①グローバルビジネスリスクとその特徴 ②海外事業成功のためのビジネスリスクマネジメントとは ③中国の固有リスクを認識した中国ビジネスリスクと管理手法 ④中国を含む海外の子会社の経営管理のあり方を、各国の不正事例や日本企業の陥りがちなリスク管理手法から解説 ⑤海外ビジネスの安全管理</p>	<p><u>中国子会社の経営管理の方法に悩んでいる方</u>、更には、中国のみならず、<u>海外ビジネス全般、海外子会社のビジネスリスク管理の方法に悩んでいらっしゃる企業の方</u>に特に有用かと思えます。</p>	<p>中国、タイ、インドネシア、ベトナム、インドの不正事例、リストラ事例、不正監査時の軟禁等の事例をご紹介させていただきます。</p>

2日目

《日中投資促進機構》

第27回中国ビジネス実務セミナー

講師からのメッセージ・講義のポイント

講義タイトル 講師	講義のポイント	こんな会社、 人にオススメ	こんな事例を 紹介します！
<p>2日目1限</p> <p>税務①</p> <p>「中国の税務概要と最新トピック」</p> <p>デロイト・トーマツ税理士法人 ディレクター 安田 和子 氏</p>	<p>中国の税制の基本を確認した上で、近年の重要税務トピックスを取り上げます。中国税務の専門家ならではの専門性の高い内容を、わかりやすく丁寧にご紹介します。</p>	<p>・まずは中国税制の基本及び実務のポイントを整理されたい、これから中国に赴任される方や中国事業の実務担当者にオススメです。</p>	<p>・中国でよく見られる調査・課税事例 ・企業のコンプライアンス対応事例 等々</p>
<p>2日目2限</p> <p>税務②</p> <p>「BEPS新通達に基づく移転価格税制の執行強化とその対応策」</p> <p>PwC税理士法人 シニアマネージャー 田中 俊秀 氏</p>	<p>中国におけるBEPS対応の税制改正について日本本社が知っておくべきポイントを説明します。国際的なコンセンサスとは異なる独自のポジションをとりつつ、移転価格執行強化を図る中国当局の最新動向を事例を交え解説し、対応方法をご紹介します。</p>	<p>・中国子会社による移転価格対応に苦慮されている企業 ・グローバルでのBEPS対応を図っていく中で中国固有の対応に苦慮されている企業</p>	<p>・中国子会社を含む移転価格文書化対応事例 ・移転価格ポリシー運用事例</p>
<p>2日目3限</p> <p>外貨管理</p> <p>「中国の外貨管理 (貿易取引・利益の回収・資金調達)」</p> <p>Mizuno Consultancy Holdings Limited 代表取締役社長 水野 真澄 氏</p>	<p>中国の外貨管理は目まぐるしく変化します。2012年・13年に大掛かりな規制緩和が実施されましたが、最近では、規制強化方針が打ち出されており、ビジネスモデルの変更を余儀なくされるケースも頻発しています。また、対外借入制度、資本項目換金・使用ルールも相次いで変更されています。中国の外貨管理の現状を、貿易項目・非貿易項目・資本項目に付いて、制度と実務運用の双方から解説します。</p>	<p>中国拠点の有無を問わず、外貨管理は中国ビジネスを行う企業すべてに理解が必要となる項目です。変化の激しい中国の外貨管理の現状を、コンパクトに解説しますので、営業、財経、審査など、職種を問わず、聴講ください。</p>	<p>① 貿易取引決済 特殊決済・オフショア取引・保税取引を含む。 ② 非貿易項目 フィーだけでなく、賠償金、保証料、企業買収代金の決済などを含む。 ③ 資本項目 国外借入れ新制度、組織再編などを含む。</p>

3日目

《日中投資促進機構》 第27回中国ビジネス実務セミナー

講師からのメッセージ・講義のポイント

講義タイトル 講師	講義のポイント	こんな会社、 人にオススメ	こんな事例を 紹介します！
3日目1限 「事例を通じて学ぶ中国現地経営 における法務リスク管理」 曾我法律事務所 パートナー 曾我 貴志 氏	法務 法務リスク管理手法として、 <u>現地で実際に起こった事例を基に、トラブルの内容やその対応方法を解説</u> します。 (トラブルの内容)従業員不正型、企業コンプライアンス型、労使紛争型、製品トラブル型等 (対応方法)トラブルの端緒の発見、事実調査、事件処理、関係者処分等	・中国に現地法人がある企業 ・ <u>現地法人のリスク管理担当者</u> ・ <u>中国事業戦略の企画担当者</u>	・情報流出、独禁規制、配置転換・減給、解雇の効力、製品事故等 ・内部告発、ユーザーの苦情、物的証拠収、電子データ等のフォレンジック等
3日目2限 「日常経営管理及び 事業再編時の労務問題」 上海華鐘投資コンサルティング有限公司 常務副総経理 能瀬 徹 氏	労務・再編 <u>通常操業時や会社清算、吸収合併、持分譲渡等の事業再編過程において発生する労務紛争について、事例を題材に、『労働契約法』等の根拠法令に照らして、会社側の対応上の瑕疵を分析し、トラブル回避の為の対策を解説</u> 致します。	中国現法にて過去に従業員から <u>労働仲裁を申し立てられたことがある、ストライキが起きたことがある会社や、事業再編を検討中の会社の経営管理者、海外事業管理部門の実務担当者</u> にオススメです。	従業員解雇時の労働仲裁事例、ストライキ発生時の対応事例、会社清算時の人員整理、リストラ、持分譲渡時の労務対策、社会保険納付や残業代支払不備に起因するトラブル
3日目3限 「越境EC・インバウンドそして内陸市場の成長—これぞ！今の中国人に売れるポイント」 (株)中国市場戦略研究所 代表 徐 向東 氏	中国消費市場 中国人の消費は大きく変わっている。スマホ決済の普及レベルは世界最先端、越境ECの規模も世界最大である。海外で消費する中国人の数も急速に伸びている。日本企業はいまこの巨大市場の変化への対応が迫られている。ここ1~2年の間に、こうした変化にうまく対応した企業も現れている。具体的な企業事例紹介しながら、「 <u>中国人に売れる</u> 」ための最新マーケティングのキーポイントを紹介します。	中国戦略や中国事業の企画立案やリサーチなどの担当者、中国人の集客・誘客・接客そして中国向けのプロモーション、販売を実際に携わる方、 <u>インバウンドおよび越境ECそして輸出担当、中国駐在予定者の方々</u> などにおすすめです。	ここ最近の中国で成功している日本企業のマーケティング事例、中国人観光客や越境ECでの成功事例、等々